

実施計画兼評価シート(令和元年度事業分)

事業No.13

【計画ベース】

◎基本情報

事業区分	継続	事務事業名	四国のゲートウェイ推進事業	担当部署	戦略企画課・特定事業推進課・情報化推進室
総合計画体系				根拠法令 計画など	鳴門市総合戦略
基本政策(大項目)	1	うきうき活力と魅力あふれるまちづくり		事業 期間	開始 平成 28 年度 終期 未定
政策(中項目)	2	伝えたい魅力あふれるまちなると			
(小項目)		観光			
施策	1	観光・交流のまちづくり			
基本事業	4	にぎわいと交流の創出			
<input checked="" type="checkbox"/> 第六次総合計画後期基本計画の成長戦略に該当の有無 <input checked="" type="checkbox"/> 次期総合戦略掲載予定の有無 <input type="checkbox"/> SRP2020該当の有無					
<input checked="" type="checkbox"/> ふるさと納税寄附金等要求 <input type="checkbox"/> ポर्टレース鳴門まちづくり基金活用予算要求					

◎事業概要(PLAN)

目的	四国の玄関口となるべく、四国内外から集客できるイベント等を開催し、四国の玄関口としてのブランド化を図り、交流人口の増加を目的とする。		事業 内容 (R1)	①四国ゲートフェスタ鳴門によるイベント(肉フェス、イルミネーション)の開催検討。 ・肉フェスについては地元団体、各関係機関と連携しながらの開催を検討する。 ・イルミネーションについては市所有のLED等を活用し開催を検討。 ②四国の拠点(ゲート)の施設整備の検討。 ・道の駅なると(仮称)の基本設計。 ③広報 ・鳴門市プロモーション動画「Beyond Naruto」を活用して県内外への情報発信				
実施方針	①四国ゲートフェスタ鳴門の開催(肉フェス・ゲートアートイルミネーション) ②四国の拠点施設整備の検討 ③広報(なるとCM動画の活用)			当初からの 変更点	四国のゲートイベント委託料:3月補正△3,000千円 道の駅開設運営準備支援業務:9月補正25,600千円、12月補正6,760千円、3月補正△4,000千円			
指標名			平成29年度実績	平成30年度実績見込	令和元年度目標	令和2年度目標	令和3年度目標	単位
活動指標 <small>実施した事業の活動量を示す指標</small>	1	施策実施数	4	3	3	3	3	件
	2							
成果指標 <small>対象にどのような効果があったか示す指標</small>	指標名		平成29年度実績	平成30年度実績見込	令和元年度目標	令和2年度目標	令和3年度目標	単位
	交流人口の増加数		38,000	28,000	8,000	10,000	10,000	人

事業の 実施内容 推移	年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
	各年度の実施(予定)内容	①肉フェスの実施 ②イルミネーションの実施 ③拠点施設整備の検討等 ④広報(CM動画の作成等)	①肉フェスの実施 ②イルミネーションの実施 ③道の駅の基本計画の策定等 ④広報(CM動画の作成等)	①肉フェスの実施 ②イルミネーションの実施 ③道の駅の基本設計図書の策定等 ④広報(CM動画の活用)	①肉フェス・イルミなどイベント開催の検討 ②道の駅の用地買収、実施設計図書の策定等 ③広報(CM動画の活用)	継続 道の駅の建築工事開始、竣工

事業費推移 (千円)	年度	令和元年度			令和2年度	令和3年度
		当初予算額	補正予算額・繰越額等	全体予算額		
	計	202,200	48,360	250,560	13,500	未定

事務事業名	四国のゲートウェイ推進事業
-------	---------------

【実績ベース】

◎実施結果(DO)

事業実施内容	令和元年度実施内容	<p>①「四国の肉グルメフェス」や「光のイルミネーション」など県内外からの集客を図るイベントを行った。肉フェスについては会場をポートレース鳴門へ移し実施。懸念された交通渋滞についても、十分な対策を講じたことにより、大きな混乱なく実施することができた。</p> <p>②道の駅については平成30年度末に実施した対話型市場調査の結果等を踏まえ、施設の管理運営を担う指定管理候補者の公募を行い、候補者を選定した。また、指定管理候補者も設計協議に参画し、民間事業者のノウハウやアイデアを反映した基本設計図書を策定した。</p> <p>令和2年度の用地買収を見越し、基本設計図書の内容を踏まえた事業認定図書を作成し、事業認定庁に対して事業認定申請を行った。</p> <p>③広報については、ぐる〜かるPR動画大賞を受賞した市プロモーション動画「Beyond Naruto」を活用し、広く県内外への情報発信を行った。</p>
--------	-----------	--

指標名		平成30年度実績	令和元年度実績	令和2年度目標	令和3年度目標	令和4年度目標	単位
活動指標 <small>実施した事業の活動量を示す指標</small>	1 施策実施数	4	4	3	3	3	件
	2						
成果指標 <small>対象にどのような効果があったか示す指標</small>	交流人口の増加数	24,000	16,000	10,000	10,000	10,000	人
	目標達成率(実績/目標)		200.0	—	—	—	%

事業費推移(円)	年度	平成30年度決算	令和元年度決算			
			前年度からの繰越決算額	決算額	令和2年度への繰越額	最終事業費
			計	59,059,987	22,670,280	59,904,044
財源内訳	国庫支出金	24,691,404	0	23,637,222	0	23,637,222
	県支出金	0	0	0	0	0
	地方債	0	0	5,400,000	142,900,000	148,300,000
	使用料・手数料	0	0	0	0	0
	その他	34,368,583	0	23,637,222	0	23,637,222
	一般財源	0	22,670,280	7,229,600	18,337,000	48,236,880

◎評価(CHECK)

今年度の進捗状況		計画どおり		事業全体の進捗状況		ほぼ計画どおり	
成果指標に対する評価	指標名	交流人口の増加数		成果指標に対する所見	<p>大型イベントの実施により県内外から多くの集客があった。「道の駅」に関しても、当初の予定通り、引き続き関係機関等と連携しながら、事業を進捗させる。</p> <p>市プロモーション動画「Beyond Naruto」については、ぐる〜かるPR動画大賞を受賞し、県内外への情報発信に一定の効果があった。</p>		
	目標	8,000	人				
	実績	16,000	人				
	評価	A:目標を達成できた					

◎今後の方向性(ACTION)

課題	<p>集客のための各種大型イベントについては、費用対効果の観点から市主体で行うやり方を見直す必要がある。</p> <p>道の駅の整備については引き続き、関係機関と連携しながら事業進捗を行う必要がある。</p> <p>また、四国の玄関口としてのブランド化・定着化をよりいっそう高めるため、プロモーション動画等を活用するなど費用対効果の高い方法により、情報発信等を行っていく必要がある。</p>				
今後の方向性	1.廃止	2.要改善	3.現状維持	4.拡充	3
↓今後の方向性を踏まえた上で、以下の欄に記入してください。					
実施内容	令和2年度	<p>①交流拠点施設となる道の駅の整備を進める。</p> <p>②民間主体が実施する大型イベントへの支援という形での開催を検討する。</p> <p>③県内外へ注目度の高い情報発信や、広報を行う。</p>			
	令和3年度	事業の見直しを行いながら継続して実施。			